

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 01 年 11 月 07 日 (17:30~21:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 古寺・佐々木・只野・山田 (郁)・小笠原・高橋・清水・武田・星野・相馬・工藤・鳥羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	8 人	人	1 人	12 人

前回の改善計画	
	<ul style="list-style-type: none">定期的なお便り配布の継続と配布地域の拡大施設内アセスメントシートの見直しをする担当職員を作り活用方法を検討していく
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 80%
	<ul style="list-style-type: none">お便りの毎月発行・地域拡大便りなど、一部の職員で実施しており全体での話し合いなど出来ていない担当職員を作ったが、支援方法や検討など相談できる体制とまでは至っていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	6	1		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	6			12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	5	7			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9			12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">お便りの毎月発行・地域拡大毎日のミーティング・スタッフ会議での情報交換本人・家族の課題把握に努め、必要な支援・希望に沿った対応

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">アセスメントシートの見直し・検討 (利用開始前のアセスメント不足)担当職員を作ったが、支援方法や検討など相談できる体制とまでは至っていない便りなど、一部の職員で実施しており全体での話し合いなど出来ていない

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">毎月のお便り配布の継続と配布地域のさらなる拡大アセスメントシートを活用し担当職員が支援方法や検討など相談できる体制を作る

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 01年 11月 07日 (17:30~21:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 古寺・佐々木・只野・山田 (郁)・小笠原・高橋・清水・武田・星野・相馬・工藤・鳥羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	5人	4人	人	12人

前回の改善計画	・利用者の目標を聞きだし掲示することを継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 60%
	・利用者の目標の掲示は実施出来ており、夏祭りの行事の時にも短冊として飾っている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		6	5	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	7	4		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8	4		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	7	3	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・様々な行事や日々の体操やヨガなど楽しみを持って生活できるよう心掛けている ・実施した事で変化など記録に残しミーティングでの確認 ・利用者の目標の掲示

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・本人の気持ちや考えの理解 (目標の把握) ・利用者を知るところが欠けている ・専門職としての認識の低さ ・利用者の意欲の低下も見られ何をしたいという希望が無い人が多いので啓発するような努力が足りない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・利用者の具体的な目標に対して、チームでその人に関わっていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和01年 11月 07日 (17:30~21:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 古寺・佐々木・只野・山田(郁)・小笠原・高橋・清水・武田・星野・相馬・工藤・鳥羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	10人	人	人	12人

前回の改善計画	
	・記録を漏らさず書くことと、出勤時には記録を読むことの徹底をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 70%
	・情報の共有は出来ている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		5	6	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	7			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	6	4		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	4			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	6	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・本人にとっての最善の方法を考え支援 ・少しの変化にも気付き、それに対する支援と情報共有

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・以前の暮らしを十分に把握できていない ・ケア方法の変更時など他職員にうまく引き継ぎ出来ていないこともあり、コミュニケーション不足

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・記録を漏らさず書くことの継続と少しの変化にも気付き、それに対する支援と情報共有をしていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 01年 11月 07日 (17:30~21:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 古寺・佐々木・只野・山田(郁)・小笠原・高橋・清水・武田・星野・相馬・工藤・鳥羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	9人	2人	人	12人

前回の改善計画
・自治会の行事に積極的に参加して関わりを持ち、地域を知るように努める。
・アセスメントの活用方法の担当職員を作り検討していく。

前回の改善計画に対する取組み結果 到達度 50%
・芸能の夕べなどの自治会行事に参加し、地域との関係作りをしている。社会資源を学ぶ研修をしている
・民生委員・福祉活動委員さんとの関わりを持ち情報共有できている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	4		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	3		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8	3		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	5	5	1	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・芸能の夕べなどの自治会行事に参加し、地域との関係作りをしている。社会資源を学ぶ研修をしている
・利用者の生活スタイルなどは、ケアマネの情報や地域に住む職員などから把握
・民生委員・福祉活動委員さんとの関わりを持ち情報共有できている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族と話し合う時間がなかったり、取れなかったり家族間の繋がりが少なくなっていたりし、施設以外での過ごし方が見えない。
・利用者と地域資源を結びつけるのはケアマネの仕事だし関わる機会がない
・地域の人や環境を知る事と、一人ひとりに合った資源のあり方の把握も出来ていなく不足している。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・自治会の行事にすすんで参加し、地域の人や環境を知る

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 01年 11月 07日 (17:30~21:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 古寺・佐々木・只野・山田(郁)・小笠原
高橋・清水・武田・星野・相馬・工藤・鳥羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4人	8人	人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との情報を共有し利用者が住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援していく。 ・利用者が地域での活動や行事参加などができるように家族や地域の方に働きかけていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 80%
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や家族、地域の方に行事への参加を働きかける取組みは出来ているが結果が伴っていない ・他施設への入所など無く、住み慣れた地域での生活が継続出来ている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	4	5		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	11	1			12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	7			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	4			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティングやスタッフ会議で記録に残したり報告することで、小さな変化に気付け共有 ・急な泊まり利用や、農繁期の泊りなどの希望に柔軟な支援がとても良く出来ている ・地域独自の課題への対応

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を使った支援が出来ていなく、まず、資源の把握とそれを使った支援について学ぶ必要がある ・家族が積極的に地域と利用者を結び付けようとしな(家族にも色々事情があると思う)

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との情報を共有し利用者が住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援していく。 ・利用者が地域での活動や行事参加などができるように家族や地域の方に働きかけていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 01年 11月 07日 (17:30~21:00)

6. 連携・協働

メンバー 古寺・佐々木・只野・山田(郁)・小笠原・高橋・清水・武田・星野・相馬・工藤・鳥羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	3人	4人	3人	12人

前回の改善計画	・地域の相談窓口としてまだまだ機能していないため、地域での困りごとなどを吸い上げていく体制作りをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 50%
	・相談窓口として少しずつ認識されてきているが地域との関わりが少なく困りごとが見えない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3		1	8	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	1		9	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	4	8			12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	7	5			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・地域のイベントに参加できている ・陽だまり喫茶も徐々に浸透してきている ・地域での気になる方などの相談窓口として少しずつ認識されてきており、訪問も実施している

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・会議の参加が出来ていない(日々の業務がある・その立場にない) ・地域との関わりが少なく困り事が見えず

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・地域の相談窓口として地域を知り、地域での困りごとなどを吸い上げていく体制作りをしていく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 01年 11月 07日 (17:30~21:00)

7. 運営

メンバー 古寺・佐々木・只野・山田(郁)・小笠原・高橋・清水・武田・星野・相馬・工藤・鳥羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	1人	人	12人

前回の改善計画	
・会議には、意識を持って参加し、意見するときは提案する形で行う。	
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 40%
・意見するときは提案する形で出来ているが、意見を言える人が少ない	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	6	3		12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	8	1		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6	2	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3	6	2	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域と協働した行事に参加 ・陽だまり喫茶の継続(地域との協力有、毎月実施) ・利用者・家族からの課題はミーティングなどで共有・反映 ・会議では意見を出すようしている(提案として発言)	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域との積極的な取り組み ・地域からの意見や要望が分かっていない ・職員として意見・考えを述べる事 ・職員でも意見を言える人・言えない人 ・自分の考えを全部話していない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・会議には全員意識を持って参加し、意見するときは提案する形で行う	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 01年 11月 07日 (17:30~21:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 古寺・佐々木・只野・山田(郁)・小笠原・高橋・清水・武田・星野・相馬・工藤・鳥羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	4人	1人	人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 研修にすすんで参加する ヒヤリハットで繰り返す事例については、職員全員に周知し意識づけしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 80%
	<ul style="list-style-type: none"> 研修会には皆積極的に参加しており、スキルアップを心掛けている ヒヤリハットも周知、意識づけ出来ている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	9	2	1		12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	3	2	1	12
③	地域連絡会に参加していますか	2	1		9	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	5			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 研修会には皆積極的に参加しており、スキルアップを心掛けている。又、スタッフ会議でも内部研修の実施も出来ている。リスクマネジメントについてもヒヤリハットで取り組み出来ており、より安全な介護を心掛け、事故が起きないように再発防止に取り組んでいる

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 地域連絡会には代表者・ケマネが参加している為、殆どの職員が参加出来ていない。 ヒヤリハットも継続し、リスクマネジメントに取り組んでいるが変わらず繰り返されている事が多いので意識付ける為、改善を話し合うことが必要と思われる

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"> 研修会にすすんで参加する ヒヤリハットで繰り返す事例については、職員全員に周知し意識づけを継続し改善後に評価をする

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 01年 11月 07日 (17:30~21:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 古寺・佐々木・只野・山田(郁)・小笠原・高橋・清水・武田・星野・相馬・工藤・鳥羽

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	7人	人	人	12人

前回の改善計画	・スピーチロック(言葉での抑制)を意識して利用者と接する。
前回の改善計画に対する取組み結果	到達度 90%
	・身体拘束、虐待、スピーチロックは意識し行なっていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	12				12
②	虐待は行われていない	12				12
③	プライバシーが守られている	7	5			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	11	1			12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	9	3			12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・身体拘束、虐待は意識し行なっていない。又、スピーチロックも意識して行なっていない ・本人の必要な制度を勧めている ・プライバシーに配慮している ・守秘義務に関する事を提示している ・記録の管理等行なっている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・口腔ケアの際、スムーズに介助を行なう為に、後ろにイスに座って待ってもらっている事がプライバシーを守られていないと感じる ・業務に余裕がなく、トイレのカーテンの閉め忘れがあったりとプライバシーの保護に努めれない時がある

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・スピーチロック(言葉での抑制)を意識して利用者と接する。

A. 事業所自己評価の確認

【事業所自己評価に取り組む姿勢に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

【前回の改善計画】

・事業所自己評価を行うミーティングの際には、個人の評価は参考程度とし、事業所として達成しているかどうかを評価の基準としていく。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？ (気軽に入り易い構え、案内、雰囲気などになっているか)	6		1
2	事業所は、利用者にとって居心地がいい空間になっていますか？ (あなたから見て、利用者が居心地がいい空間となっていると感じるか)	7		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？ (事業所が発する不快な音や臭いがないか) (なければ「はい」をチェック)	6		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？ (事業所の正面玄関に鍵がかかっていないか) (なければ「はい」をチェック)	6		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・引き続き、整理整頓を心がけ、プライバシーの保護に配慮していく。
- ・ウェルカムボードの内容がマンネリとならないよう、さらに検討を重ねていく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

【今回の改善計画】 ※後日記入

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		2
1	職員はあいさつできていますか？	7		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？ (地域=仙美里地区 の町民に概ね認知されていると考えられるか)	7		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？ (地域住民が日常の困りごと等を気軽に相談できる事業所になっているか)	4		3
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？ (事業所が自治会の一員として、仙美里元町自治会の行事等に参加しているか)	4		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

・引き続き、陽だまり喫茶の中でニーズ等を聴く機会を設けていき、事業所として随時相談を受け付けていることを宣伝していく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？ (外出の機会があり、地域住民と会ったときにはふれあえる機会があるか)	5		2
2	仙美里元町自治会の方を交えた会議が行われていますか？	4		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？ (利用者が自治会の一員として、仙美里元町自治会の行事等に参加しているか)	5		2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？ (困りごとを抱えた地域住民に、事業所として相談を受ける体制が整っていることが周知されていますか)	4		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・引き続き、運営推進会議の中で、地域に困っている方がいないかどうか意見を聞く機会を設ける。
- ・事業所として相談体制が整っており、随時相談を受け付けていることをアピールしていく。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

【改善計画】 ※後日記入

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		3
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？ (事業所の状況や取組、イベント等が説明されているか)	7		
2	運営推進会議では、地域の心配な方等の事例検討が行われていますか？ (仙美里元町自治会又は周辺自治会から寄せられた事例の内、推進会議で解決できる事例について検討されているか、又は関連機関へ相談が繋がれているか)	6		1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？ (推進会議と仙美里元町自治会又は周辺自治会が連携し、イベントや行事等の取組を共に行える体制となっているか。)	4	1	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

・事業所で心配ごと相談を受けた際や相談を地域包括支援センター等につなげた際、また相談が解決した際などに、地域の民生委員と情報共有を図る。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

【改善計画】 ※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？ （非常災害対策計画が整備され、内容を知っているか）	5		1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？ （事業所が仙美里元町自治会の（又は仙美里元町自治会を含む）防災訓練に参加しているか）	3		4
3	事業所の防災訓練は周知されていますか？	4		3
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？ （災害時に最低限の責務（利用者・訪問者の安全の確保）を全うできそうか）	4		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・事業所入口（スロープ）の除雪は優先的に行う。
- ・冬期間の防災計画について検討を行う。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本別町社会福祉協議会	代表者	会長 砂原 勝	法人・ 事業所 の特徴	本別町社会福祉協議会が運営する事業所。 本別町市街地からは離れた所に立地している。 地域住民の方々の理解と協力を得ながら運営しており、利用者の方々の住み慣れた地域 で生活していただくという考えのもと、地域密着型の介護保険事業所としてその機能を 担っている。
事業所名	仙美里小規模多機能型居 宅介護事業所 「陽だまりの里」	管理者	管理者 古寺 友美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	7人	人	人	1人	人	7人	人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価を行うミーティングの際には、個人の評価は参考程度とし、事業所として達成しているかどうかを評価の基準としていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価項目毎にその項目に対して直接関わる職員、関わらない職員が分かれるので、事業所としての到達度を表示し、それに基づいた改善計画を立てるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画について、未だ抽象的な部分が多いので、数的にどの程度改善するのか見える化した方がわかりやすいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 各項目に対して、目標値が可視化できるものは数値を設定していく。(事業所だよりの発行・陽だまり喫茶の開催など)
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、整理整頓を心がけ、プライバシーの保護に配慮していく。 ウェルカムボードの内容がマンネリとならないよう、さらに検討を重ねていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報を含む書類については遮りのある棚へ収納する等、目に見えない場所へ収納している。 ウェルカムボードは毎日違った情報を丁寧に書くよう心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自体に不快な音や臭いはないので衛生的には問題がないのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務所がオープンスペースになっており、気軽にコミュニケーションをとれるようになってきているが、個人情報を含まない書類等が煩雑になっているので、整理する。
C. 事業所と地域の かかわり	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、陽だまり喫茶の中でニーズ等を聴く機会を設けていき、事業所として随時相談を受け付けていることを宣伝していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 陽だまり喫茶では随時相談を受け付けているが、具体的な相談はない状態。 事業所だよりでは随時相談を受け付けている旨を宣伝している。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口があることはわかるが、相談している場面が見えない。 相談室はあるか？なければプライバシーの配慮をしつつ設けたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 随時相談を受け付けていることを引き続き事業所だよりで宣伝するとともに、陽だまり喫茶時に小上がりスペースを活用し相談スペースを設ける。 ウェルカムボードの上に相談受付の看板を設置する。 運営推進会議時に相談件数や内容を報告する。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、運営推進会議の中で、地域に困っている方がいないかどうか意見を聞く機会を設ける。 事業所として相談体制が整っており、随時相談を受け付けていることをアピールしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員を含め地域の方が多く参加する運営推進会議内で地域の困りごと・相談ごとを聞く体制を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者自身が自治会のイベントに参加しているかの項目があるが、参加できるイベントが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会主催の花植や焼肉交流会について、自治会の承諾が得られれば、利用者とともに積極的に参加していく。 自治会の総会・懇親会にも多くの参加を目指していく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> 事業所で心配ごと相談を受けた際や相談を地域包括支援センター等につなげた際、また相談が解決した際などに、地域の民生委員と情報共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員とは相談があった方の顛末については情報共有が図られている。 運営推進会議内で地域の困りごと・相談ごとを聞く体制を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議内で困りごと等の議題が上がったことはないが、システムとしては整っているので問題ないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、民生委員との情報共有を図っていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 事業所入口（スロープ）の除雪は優先的に行う。 冬期間の防災計画について検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所入口（スロープ）は手作業であっても優先的に除雪するようにした。 冬期間の防災計画、水害の際の具体的な避難訓練などは未だ不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、地域の防災訓練は行っていないが、行われた際には、事業所としても地域の防災訓練に参加する。(事業所意見) 	<ul style="list-style-type: none"> 気象庁の警報基準等が頻繁に変わるため、非常災害対策計画の作り直しが進んでいないため、最新の情報に基づいた計画に改める。 水害時の避難訓練についても検討を行う。

